

食品ロスに関する国際的な関心の高まり

✓ 2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、食料の損失・廃棄の削減を目標に設定。

■ 国連「持続可能な開発のための2030アジェンダ」（平成27年9月）

ミレニアム開発目標の後継となる2016年以降2030年までの国際開発目標（17のゴールと169のターゲット）27年9月に国連で開催された首脳会議にて採択。

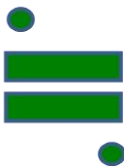


ターゲット12.3
2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。

ターゲット12.5
2030年までに廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

日本の食品ロスの状況（令和2年度）

日本の「食品ロス量」
約522万トン



国民1人当たり食品ロス量

1日 約113g

※ 茶碗約1杯（約150g）のご飯の量に近い量

年間 約41kg

※ 年間1人当たりの米の消費量（約53kg）に近い量



事業系
約275万トン

A visual representation of food waste volume for the business sector using trash can icons. There are two large trash can icons in a row, and six smaller trash can icons below them, totaling eight icons.

家庭系
約247万トン

A visual representation of food waste volume for the household sector using trash can icons. There are two large trash can icons in a row, and six smaller trash can icons below them, totaling eight icons.

資料：総務省人口推計(2020年10月1日)
令和元年度食料需給表（確定値）